

報道関係者 各位

認知症高齢者保護情報共有サービス『どこシル伝言板®(特許出願中)』について
読売新聞に掲載されました

2017年8月18日発行 読売新聞 夕刊に、東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役会長：濱田矩男）の子会社である、株式会社みらい町内会（本社：東京都世田谷区、代表取締役：加藤勝哉、以下、みらい町内会）が提供する『どこシル伝言板®（特許出願中）』自治体導入事例（徘徊模擬訓練等）が掲載されました。

1. 『どこシル伝言板®（特許出願中）』の概要

- ・ 24時間365日いつ発生するかわからない認知症高齢者の徘徊問題に関し、「本人が身元や連絡先を答えられなくても保護者と連絡が取れる」「保護されてからも無事、安全・安楽に帰宅できる」という目的のために企画・開発されたシステムです。
- ・ QRコードを印刷したラベルシールを高齢者の衣服や杖などに貼付しておき、発見者がスマートフォンで読み込むことで保護者との連絡の手段として活用できます。発見者と保護者が直接やり取りすることで、認知症高齢者ご本人・ご家族等の保護者・発見者・自治体関係者・警察関係者などの負担軽減に寄与します。
- ・ 発見者と保護者のやりとりした内容は、事務局である自治体にタイムリーに情報が集約・共有されますので、速やかなアウトリーチが可能です。
- ・ 認知症高齢者ご本人・ご家族等の保護者・発見者などの個人情報を一切開示することなく運用することが可能です。

2. 『どこシル伝言板®（特許出願中）』で使用するQRコードラベル・シール

<耐洗ラベル>



みらい町内会 AA0000

- 衣服等にアイロンで圧着し使用
- 肌あたりしても過度の違和感なし
- 家庭用の洗濯で約200回程度の耐久性

<耐洗ラベル>



みらい町内会 AA0000

- 杖や鞆等にシール貼付
- 蓄光素材を使用しているため暗所で発光
- 透明カバーシール保護1年以上継続使用可

3. 自治体への導入開始

2017年1月

4. 導入先自治体

10自治体 ※ 2017年8月1日 現在

5. 掲載紙

読賣新聞 2017年8月18日 夕刊 ※ 別紙参照ください

6. みらい町内会の概要

会 社 名 : 株式会社みらい町内会

資 本 金 : 50,000,000 円

主 要 株 主 : 東邦ホールディングス株式会社 (東証一部 証券コード: 8129)

代 表 者 : 代表取締役 加藤 勝哉

設 立 : 2014年 (平成 26年) 12月 8日

本 社 所 在 地 : 〒155-8655 東京都世田谷区代沢 5-2-1

丸ノ内オフィス: 〒100-6610 東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー10F

事 業 内 容 : ICTを活用した高齢者生活支援サービス事業 「おせっかいステーション®」

認知症高齢者保護情報共有サポート事業 「どこシル伝言板® (特許出願中)」

e-ラーニング事業 「しるべ倶楽部®」

「PALRO (パルロ)」(富士ソフト株式会社) 販売・レンタル代理店事業

電気通信事業 「みらいコラボ光®」

ヘルスケア関連コンサルティング事業 他

U R L : <http://mirai-town.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社みらい町内会 サービス事業本部 地域ネットワーク推進室 植田元気

〒100-6610 東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー10F

TEL. 03-6838-2834 FAX. 03-6838-2903 E-Mail. mirai-town.@so.tohoyk.co.jp

以 上